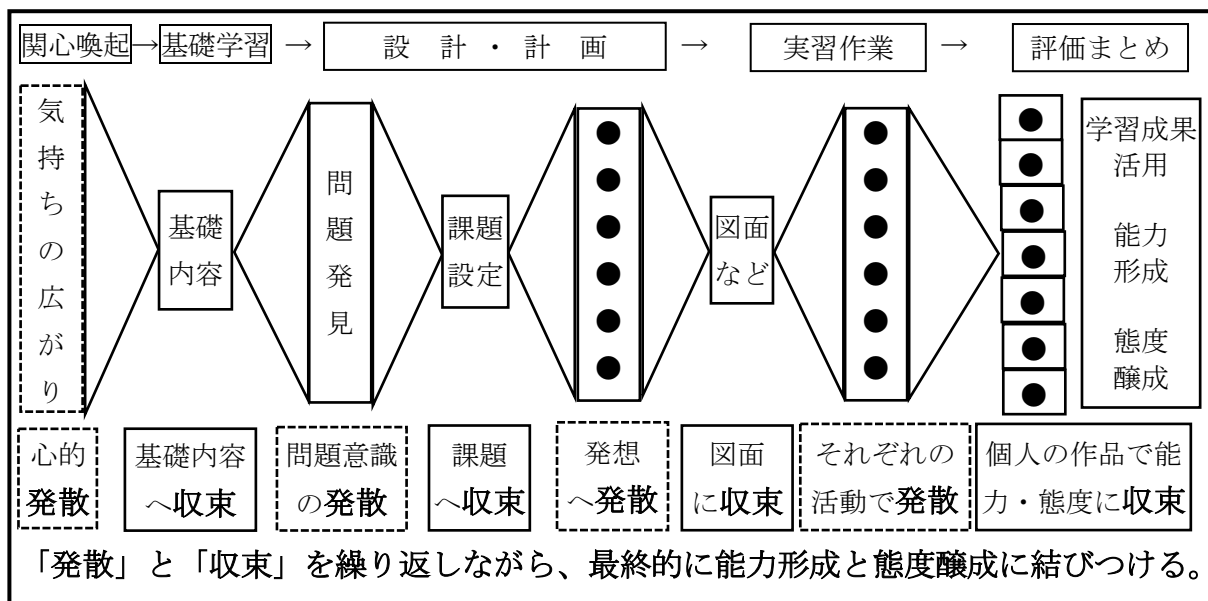


<803> 「授業づくり」で「発散」と「収束」を上手に配置するコツとは？

メリハリがない単調な授業を改善するポイントは、「発散」と「収束」を上手に配置するのがコツだと思います。「発散」と「収束」を工夫して問題解決する「授業づくり」の基本の流れを示してみます。この例を参考にして、メリハリある「授業づくり」のコツをつかんでみては、いかがでしょうか？



参考資料1 「発散」と「収束」の参考例

学習活動の過程		発散か収束	具体例
関心の喚起	気持の広がり	発散	学習する技術の内容への思いを広げる
基礎学習	基礎内容	収束	問題解決で活用する「知識及び技能」の内容
設計・計画 問題解決学習の流れ	問題発見	発散	設計・計画へ様々な思いを広げる
	課題設定	収束	使用目的や条件の基で思いを限定していく
	様々な案	発散	設計・計画への思いを広げる
	図面・設計図	収束	思いを収束させ、図面・設計図に固定する
実習作業	製作・育成・制作	発散	実習する様々な工具・機械などを想定する
評価まとめ	作品完成	個に収束	決めた工具・機械などを使い作品を完成させる
	生活で活用	個に収束	学習成果が各個の能力や態度化へと収束する